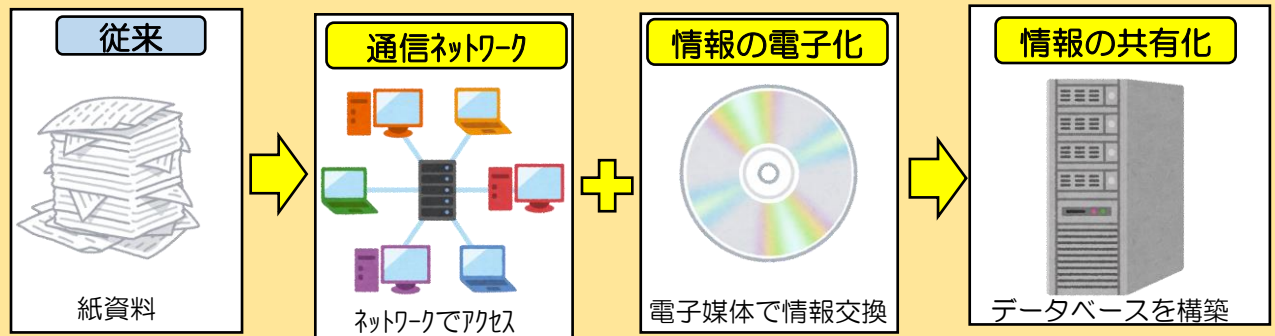


お知らせ 情報共有システム導入モデル工事について

苫小牧港管理組合が発注する工事において、ICT(情報通信技術)を活用し、書類などの情報を交換・共有することを支援する情報共有システムを導入する予定です。本運用に先立ち、情報共有システムによる効果や課題の検証するための「モデル工事」を実施しますので、お知らせします。

●概要

従前、紙資料で交換されていた情報(履行報告書、段階確認願、立会願、工事施工協議簿)を電子化するとともに、インターネットを活用して情報共有を図る。



●対象工事

令和2年11月20日以降に入札（電子入札の場合は開札）を行う工事のうち、発注者の指定した工事。

●使用システム

対象工事で使用する情報共有システムは、次のものを推奨する。

推奨システム名：北海道建設部版工事施工情報共有システム（決裁迅速化対応仕様）
 ASP（Application Service Provider）事業者：一般財団法人北海道建設技術センター
 上記推奨システム以外を使用を希望する場合は「工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 平成31年3月版（Rev5.1）」（国土技術対策総合研究所）を満たす情報共有システムを選定し、工事監督員と協議し承諾を得なければならない。

●システム利用料

受注者がASP事業者へ利用料を支払う。

（情報共有システム利用に係る経費（登録料及び利用料）は、共通仮設費の率計上分に含まれています。）

●導入のメリット

- ・情報の共有により、情報の行き違いや伝達ミスが減少。
- ・通信ネットワークを利用し、何処でも短時間で情報交換でき、迅速な対応が可能。
- ・情報の電子化により保管スペースが削減。
- ・情報の検索が簡易・短時間で可能。

●今後のスケジュール（予定）

モデル工事（2件程度）

令和2年11月～令和3年3月



効果・課題
の検証



本運用（B等級以上の全工事）

令和3年4月～